



かくしんじょう! ①

どんなところが危ないか分かったかな? 家の中の危険なところや、普段の生活で気をつけるところを確認しよう! まずは、たばこ、ストーブの危険なところをみてみよう!

1 ~ 2 編

1

たばこ

寝たばこをしている。

気づかないうちに、火種が布団に落ちてしまうこともある。

灰皿がいっぱいになっている。

- ✓ 寝たばこはしない、させない
- ✓ 灰皿に吸いがらをためずにこまめに捨てる
- ✓ 灰皿に水を入れておく
- ✓ 布団など燃えやすいもののそばでタバコを吸わない

対処法

メモ

2

ストーブ

洗濯物をストーブのすぐ上に干している。乾燥すると落ちて危ない。

ストーブとカーテンが近く、カーテンが風などにあおられて接してしまい、燃え広がる可能性がある。

ストーブの前に、座布団や衣類がおいてある。

スプレーを近くで使用すると引火してしまう危険性がある。

スプレー缶などがストーブのすぐそばにおいてある。

- ✓ 洗濯物をストーブの上に干したり、近くで乾かしたりしない
- ✓ ストーブをカーテンや家具に近づけない
- ✓ スプレー缶など、高温になると危険なものを近くに置かない
- ✓ 可燃ガススプレーを近くで使用しない

対処法

メモ



かくしんじょう! ②

つぎは、コンロと仏壇だよ!みんなのおうちは大丈夫かな?おうちの人といっしょに確認してみるのが大事だね!

3~4編

3

コンロ

コンロの上に
布巾を干して
いる。

コンロの火を
消さずに電話
に出て、夢中
になっている。

コンロの近くに
キッチンペー
等を置いたままに
している。

対処法

- ✓ コンロのそばを離れるときは必ず火を消す
- ✓ コンロ周りに燃えやすいものを置かない
- ✓ コンロの上に布巾などを干さない

メモ

4

仏壇

ろうそくがついたま
まになっている。

ろうそくや線香が、
風や地震、ペットの
いたずらなどで倒れ
てしまうことがある。

カーテンが仏壇と近いため、
風などでカーテンがあおら
れ、ろうそくの火が燃え
移ってしまう危険がある。

対処法

- ✓ 供えものなど燃えやすいものをそばに置かない
- ✓ ろうそくや線香立ての設置場所には、ガラス
テーブルや防災マットなどをしく
- ✓ 風や振動でろうそくや線香が倒れてしまうこ
とがあるので、窓の開閉に注意する
- ✓ その場を離れるときは必ず火を消す

メモ



かくにんじょう! ③

つぎ おきな
次は、幼いこどもと、コンセントの危険なところをみてみよう! 火災だけでなく、おも じこ
につながることもあるから注意が必要だね!

5~6編

5

幼いこども

ライター、マッチなどが子どもの手の届くところにある。



対処法

- ✓ 子どもの手の届くところにライターやマッチを置かない
- ✓ こどもがストーブに近づけないように柵をする
- ✓ ストーブ使用中は子どもから目を離さない

メモ

6

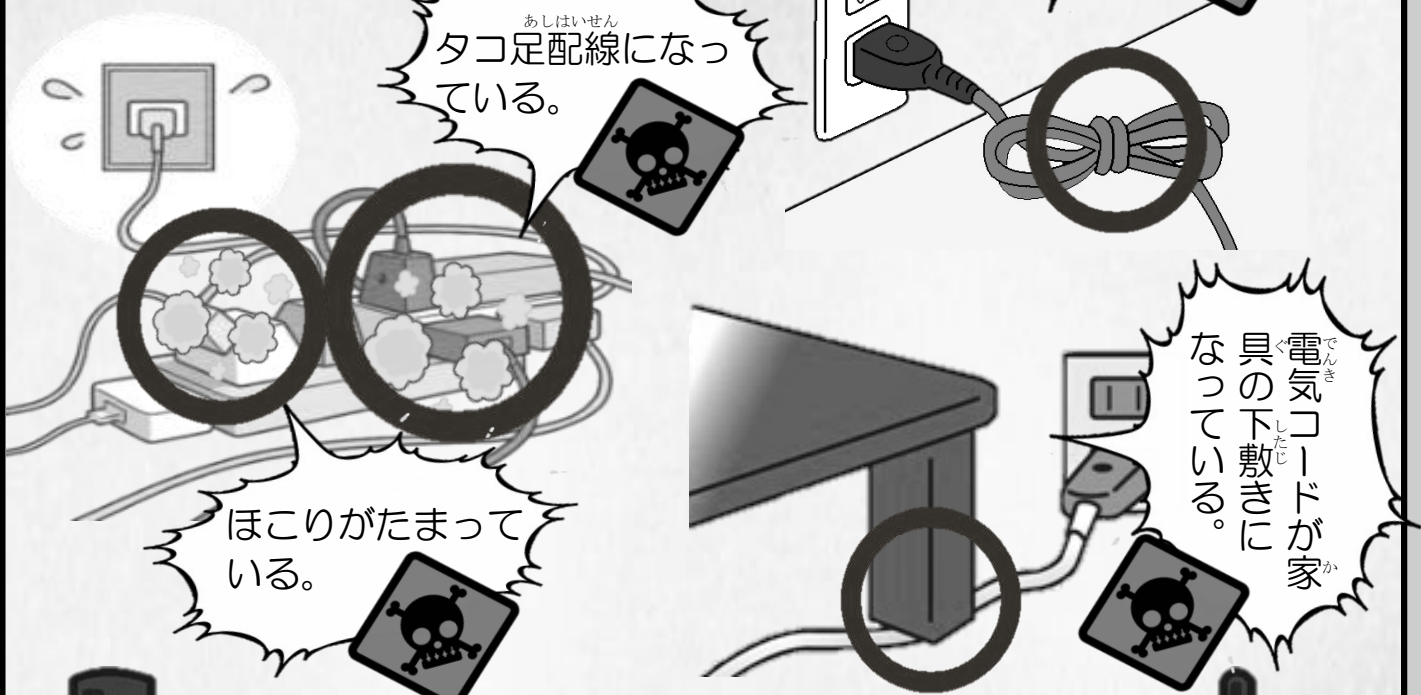
コンセント

電気コードを束ねたまま使用している。

あしはいせん
タコ足配線になっている。

ほこりがたまっている。

電気コードが家具の下敷きになっている。



対処法

- ✓ 容量を超えたタコ足配線は絶対にしない
- ✓ コンセントやプラグは掃除をする
- ✓ 電気コードを束ねたまま使用しない
- ✓ 電気コードを家具やカーペットの下敷きになっていないか確認する

メモ



かくしんじょう! 4

7は少し難しかったかな? 火を使っていなくても、火災が起きることもあるよ!
どうして火を使わなくても火災が起きるのかな? 原因を見てみよう!

7~8編

7

かがみ
鏡
ペットボトル

むずかしい
難



鏡やガラスなどによつて太陽の光が集まったところで起こる火災を「収れん火災」と言います。「虫めがねで太陽光を一点に集中すると火がつく」と同じ原理です。鏡やガラスのほかに、金魚ばちや水の入ったペットボトルにも注意が必要です。

対処法

- ✓ 窓際や、日の当たる場所には鏡やペットボトルや、金魚ばちなどを置かないようにする

メモ

8

ほうか
放火



家の外にゴミやダンボールなど、燃えやすいものを出したままにしている。

対処法

- ✓ 家の周りに新聞や雑誌など、燃えやすいものを置かない
- ✓ 不用品は整理・処分する
- ✓ ゴミは、決められた日時に出す
- ✓ センサーライトや見回りなど、放火されにくい対策を講じる

メモ